

環境教育掲示用教材 指導資料

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、私達を取り巻く環境に着目し、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的として作成した教材です。

本指導資料では、環境教育掲示用教材の授業等での活用例を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

住みよい街づくりと自然環境の保全～世界自然遺産～

① 表題



② ねらい

身近な生物と人間が共存する持続可能な自然環境を保全しようとする意欲を育成する。また、世界自然遺産の意味を理解させ、豊かな自然を将来に残していこうとする態度を育てる。

③ 環境教育で対象とする主な内容 (ESD の構成概念)

資源の循環(相互性)、自然や生命の尊重(多様性・公平性)、生態系の保全(相互性・責任性)、生活様式の見直し(責任性)

※環境教育指導資料 P8、P9 参照

④ 主な SDGs との関連

【SDGs11】 住み続けられるまちづくりを (小学校・中学校共通テーマ)

【SDGs14】 海の豊かさを守ろう、【SDGs15】 陸の豊かさを守ろう

⑤ 主な活動

活動内容 (○主な活動)	教師の支援 (◇留意点)	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①を見て、「住みよい街づくり」について考える。	◇住みよい街づくりについて考え、自然の大切さに気付かせる。	◆掲示用教材① ◆ワークシート①
○掲示用教材②を見て、世界の自然保全活動と世界自然遺産の意味を知る。	◇自然を守る世界の取組を理解させる。	◆掲示用教材②
日本にある世界自然遺産		
○掲示用教材③を見て、日本の世界自然遺産について学級全体で話し合う。	◇写真を参考に、日本にある世界自然遺産の四つの地域が、世界自然遺産に選ばれた理由(共通点)を考えさせる。	◆掲示用教材③ ◆環境教育指導資料 P57～
○掲示用教材④を基に、東京都の世界自然遺産「小笠原諸島」の自然を守る取組を知る。	◇小笠原諸島の自然を守るの取組を理解させる。	◆掲示用教材④ ◆ワークシート②
○日本にある世界自然遺産の自然を守る取組について調べる。	◇住みよい街づくりと自然環境の保全の関係を考えさせる。	
○掲示用教材⑤を参考に、他国の世界自然遺産の自然を守る取組について調べる。	◇生徒一人一人が環境保全につながる生活を心掛ける必要があることに気付くよう、活動を振り返らせる。	◆掲示用教材⑤ ◆ワークシート③
○気付いたことや感想を発表する。		

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。

※東京都教育委員会ホームページで、環境教育指導資料及び本掲示用教材のイラストや図表等を公開しており、拡大して授業等で活用できます。



かんきょう
環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

住みよい街づくりと自然環境の保全～世界自然遺産～

年 組 名前

①人と自然が調和する「住みよい街づくり」とは、どんな街づくりだろう



②日本にある世界自然遺産の自然を守る取組について調べてみよう



③他国の世界自然遺産の自然を守る取組についても調べてみよう

